

## ニュースと窓

### ■新加入機関紹介

勸元興寺文化財研究所

～すきばめ法による古文書修復事業の開始

同研究所は昭和42年の創立以来、仏教民俗資料及び関連遺跡の調査・研究と埋蔵文化財出土遺物・民俗文化財等の保存研究開発・保存処理を中心に活動を行ってきています。元興寺奉納庶民信仰資料の調査研究や「修羅」(大阪府出土)の保存処理、埼玉県稲荷山古墳出土鉄剣の銘文表出等の貴重な実績でその名はひろく知られています。現在、研究部は人文考古学研究室と保存科学センターにわかれています。保存科学センターでは従来から出土木製品・金属器、民俗文化財、絵馬等の保存処理・修復を手がけてきましたが、昨年から新たにすきばめ法による古文書の修復事業を始めています。すきばめは虫損や鼠喰などで破損した紙葉に水に浮遊させた

紙繊維を流し込み、紙の欠損部分に繊維を充填するという紙資料の大量修復の方法です。ヨーロッパからこの技術を導入した東京国立文化財研究所の指導を受け、膨大な量の近世・近代文書修復の実用化に向けて研究を進めてきたもので、昨年より修復事業として受託を始めたものです。すでに奈良市西大寺所蔵興正菩薩御教誡聴聞集、滋賀県中主町安治区有文書を修復しています。同研究所では、このほかにも紙資料修復の諸問題につき、研究と技術の向上に取り組んでいます。

勸元興寺文化財研究所

〒630 奈良県奈良市中院町11

TEL 0742-23-1376

同保存科学センター

〒630-02 奈良県生駒市元町2-14-8

TEL 07437-4-6419

(事務局 太田富康)

## ■事務局だより

全史料協結成15年目にあたる平成2年度も、あと僅かで終わろうとしています。この一年間を振り返ってみますと、今年度が全史料協にとってまさに節目にあっていた年であったことを痛感いたします。たとえば、①会報の発行が年3回(9・12・3月)体制に移行 ②待望の会誌「記録と史料」の創刊 ③第二回中国視察団による中国档案馆との交流 ④全国大会参加者がはじめて200名を超え(219名) ⑤全国大会にともなう研修会の開催(Aコース97名、Bコース74名) ⑥石原官房副長官及び小谷総理府次長への表敬訪問、など充実した足跡が読みとれます。またこの間、会員数も機関会員91、個人会員103名(平3・1・31現在)に増加しました。

このような着実な歩みと規模の拡大をふまえ、会の今後一層の発展のため、現在役員会と運営委員会を中心に、運営組織の改正や会員資格・入会手続及び予算規模などの組織検討をすすめております。3月役員会で会則変更も含め、新しい提案が出される予定です。

なお来年度全国大会・研修会は、徳島県立文書館を中心に11月中旬に開催される予定です。またICA事務局長の来日が5月中旬に計画されていますが、それにあわせて研修会を企画したいと考えております。

最後になりましたが、会費の未納者の方がまだいらっしゃいますので(機関会員100%納入、個人会員82%納入)、年度内に納入して下さいよう、お願いいたします。

## ■国立公文書館の第4回公文書館等職員研修会について

国立公文書館では、昭和63年から標記研修会を開催いたしております。本年も11月下旬の5日間、当館4階会議室を主会場として開催する予定です。受講者は、各省庁や地方公共団体において文書の管理、保存、利用等の業務に携わっている方々です。

なお、日程等の詳細については、本年8月頃までに決定する予定で準備を進めています。

〒102 東京都千代田区北の丸公園3-2

TEL 03-3214-0621

## ■21世紀の史料保存をになう

アーキビストの育成をめざして

### 平成3年度史料管理学会のごあんない

国立史料館(国文学研究資料館史料館)では、下記の要領で「平成3年度史料管理学会」を実施します。長期課程・短期課程とも、研修生の募集は4月から5月におこなう予定です。募集要項は都道府県知事、同教育長、都道府県立図書館長、同文書館長、国公私立大学長等あてに発送しますが、とくに入手を希望されるかたは史料館事務室までお問い合わせください。

〒142 東京都品川区豊町1-16-10

国文学研究資料館史料館事務室

TEL 03-3785-7131

## ◆平成3年度史料管理学会開催要領◆

### A 長期研修課程

#### 日程

前期：7月8日～8月2日(4週間)

後期：9月2日～9月27日(4週間)

ただし前期後期とも1週間はレポート準備にあてられるので、実質は各3週間。なお、前期後期を通して履修するのが原則だが、勤務の都合などにより二年度にわたって履修することもできる。

#### 場所

国文学研究資料館(東京都品川区)

#### 受講料

無料

#### 募集人員

35名以内(応募者が多い場合は選考を行なう)

#### 応募資格

(1)史料保存機関をはじめとして、官公署文書課、自治体史編纂室、大学史編纂室、又は原史料を取り扱う必要のある機関等に勤務し、史料の整理、管理等の業務に従事しているもので経験を有する者

(2)大学卒業以上の学歴を有する者で、史料管理学に強い関心をもつ者

#### 講師陣

史料館員のほか、館外の第一線研究者や文書館員など、合計30数名

#### 研修内容

カリキュラムの構成は、

①総論(文書館総論, 史料管理学序論, 情報関連法制など6科目)

②史料論(史料論総論, 古代中世史料論, 近世史料論, 近現代史料論など8科目)

③記録・史料管理論(記録管理論, 史料管理プログラムの設計, 史料所在調査法, 史料整理論, 史料の保存科学など17科目)

④史料管理の実際(史料保存機関数機関の見学)となっている。

研修方法は、講義だけでなく、実習、見学、討論の時間を多くもうけ、楽しく履修できるように配慮している。

#### 修了証書

規定の課程を修了し、研修レポート(400字詰20枚程度)の審査に合格した者に、修了証書を授与する。

#### B 短期研修課程

##### 日程

11月11日～11月22日(2週間)

ただし、後半1週間はレポート準備にあてられるので、実質は1週間。

##### 場所

札幌市(北海道)

##### 受講料

無料

##### 募集人員

35名以内(応募者が多い場合は選考を行なう)

##### 応募資格

史料保存機関又は官公署文書課等に勤務している者

##### 講師陣

史料館員のほか、館外の第一線研究者や文書館員など、合計10数名

##### 研修内容

カリキュラムの構成は、長期研修課程に準じ、合計13科目

#### 修了証書

規定の課程を修了し、研修レポート(400字詰10枚程度)の審査に合格した者に、修了証書を授与する。(国立史料館 安藤正人氏寄)

#### ■ICA事務局長ケスケメテ氏の来日

ICA(国際文書館会議)の事務局長であるケスケメテ氏が、5月中旬に来日されることになりました。全史料協では、同氏を講師として研修会を開催する予定です。

5月18日(土)には京都で西日本中心の、5月20日(月)には千葉で東日本中心の研修会を予定しています。

講演の内容は確定していませんが、「文書館ネットワーク」、「文書館専門職養成」問題が予定されています。

詳細な日程などについては後日、決まり次第お知らせします。

#### ■大会報告者の募集

第17回全国大会は、平成3年11月7日、8日の二日にわたり徳島県立文書館で開催されます。

今年度の大会テーマは、ひきつづき「地域の中の文書館」と決まりました。一昨年、昨年の報告、論議をふまえ、広がりや深まりのある研究大会にしたいと考えております。そのためには、全国各地のさまざまな方々の積極的な参加は欠かせません。

都道府県レベルの、市町村レベルの、あるいは各種の文書館・史料館がかかえている問題、担っている役割・機能、あるいは今後進むべき方向などについて、ぜひ報告、提言していただきたいと考えております。報告を希望される方は、4月末までに全史料協事務局までお知らせください。

また、大会の運営についてもいろいろ検討を加えているところです。研究大会の持ち方、報告のあり方などなど、それらの点についても積極的な意見を寄せて頂きたいと思っております。